

-----6月1日-----

今週のアウトルック（6/1～6/5）

難しい展開が続いています。

基本的にドル安トレンドなのですが、ドル円は94円前半へ一気に抜けることができなかったことから、一度ドル高に振れています。また北朝鮮による地政学的リスクやハイブリッド・ブックによるドル買いなどによるドル高要因も、引き続き継続しています。

一方、ドル安が進む場合でもEURUSD, GBPUSD, AUDUSD, USDCADなどが中心となるため、ドル円は微妙な位置づけになっています。EURUSDなどが高くなった場合でも、ドル円はあまり下落しないという場面も何度かありました。今週もこうした状況は継続しそうです。

今週のドル円ですが、ドル安にもドル高にも大きく振れる可能性は少ないように思います。94円から97円あたりのボックスに収まってしまわないかと予想しています。

ユーロ円は引き続き難しい動きになりそうです。

ドル円が円高、ユーロドルがユーロ高に動いた場合、どちらへ動くかは状況によって変わってきます。基本的にはユーロ高へ行きそうですが、株価の急落にあわせてユーロ安へ動く場面も多いと思います。

ユーロドルもそろそろ本格的な調整が一度はいつもおかしくないように思います。AUDUSD, USDCADなどもそうですが、原油高に合わせている部分もあるので、原油先物の急落には要注意です。予想としては132円から136円あたりのボックスを考えています。

ポンドも予想しづらい状況にあるようです。

GBPUSDが1.6を大きく超えたことから、テクニカル的には上昇トレンドが鮮明になっているようですが、英国財政に関するリスクがいつ再燃してもおかしくない状況にあるように思います。

ポンド円の予想としては152円から160円あたりを考えていますが、急落の可能性も考慮しておいたほうが良いように思います。

金曜日には米国雇用統計の発表があります。

結果次第では、大きく株高にも株安にも動く可能性があると思います。その場合債券価格にも左右されて、ドルの動きは予測しづらいものになると思います。一方、ストレートの大きな調整はどちらに大きく動いた場合でも、考慮しておく必要があるように考えています。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。